

会場案内

関内ホール（横浜市中区住吉町4-42-1）

- JR「関内駅」北口 徒歩6分
- 市営地下鉄「関内駅」9番出口 徒歩3分
- みなとみらい線「馬車道駅」5番出口 徒歩5分

主催 横浜市社会福祉協議会
18区社会福祉協議会

共催 横浜市

寄付協力 株式会社メモワール 様
株式会社ひとはな 様

〈個人情報の取扱いについて〉
参加申込書に記載された個人情報は、本フォーラムに係る企画、主催者用参加者名簿の作成・管理等、本フォーラム関連のみの目的で使用するとともに、本会「個人情報保護に関する方針」に基づき、適切に取り扱います。
（個人情報保護に関する方針 <https://www.yokohamashakyo.jp/kojin-joho/>）

問合せ・申込み

横浜市社会福祉協議会 企画部企画課

横浜市中区桜木町1-1 横浜市健康福祉総合センター7階

TEL 045-201-2090 FAX 045-201-8385

E-mail kikaku@yokohamashakyo.jp



「よこはま地域福祉フォーラム」は、共同募金配分金を財源の一部として実施しています。

第11回

よこはま地域福祉

フォーラム



要約筆記
あり

認めあい つながり とともに

受付 12:30

2026.12.10 木 13:00-16:00

関内ホール 大ホール

社会福祉法人横浜市社会福祉協議会・18区社会福祉協議会



日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

ボランティア活動保険

令和8年度

商品パンフレットは
こちらから
(ふくしの保険ホームページ)



保険金額・年間保険料（1名あたり）

団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増適用

保険金の種類		基本プラン	天災・地震補償プラン
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円	
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)	
	入院保険金日額	6,500円	
	手術 保険金	入院中の手術 65,000円 外来の手術 32,500円	
	通院保険金日額	4,000円	
賠償責任	地震・噴火・津波による死傷	×	○
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)	
	年間保険料	350円	500円

<重要>

- ◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆年度途中でご加入される場合も左記の保険料となります。
- ◆中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03 (3349) 5137
受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03 (3581) 4667
受付時間: 平日の9:30~17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)



作家 ひがしだ なおき
東田 直樹 氏

13:10～ 第1部 基調講演

見方を変えれば世界は変わる
生きづらさを抱えた人たちへのメッセージ

誰もがそれぞれの生きづらさを抱えながら生活している現代。見方を変えることで生まれる気づきとは、そして、一人ひとりのありのままに寄り添うことのできる社会とは—

自閉症当事者としての視点から、認めあうことの大切さと、人と人がつながり続けることの意味についてご講演いただきます。

講師プロフィール

1992年生まれの作家。会話のできない重度の自閉症。パソコンおよび文字盤ポインティングにより援助なしでのコミュニケーションが可能。これまでに詩やエッセイ、絵本などの単行本を20冊以上出版している。

2014年に出演したNHK特集「君が僕の息子について教えてくれたこと」は文化庁芸術祭テレビ・ドキュメンタリー部門で大賞受賞。13歳の時に執筆した、理解されにくかった自閉症者の内面を伝えた著書「自閉症の僕が跳びはねる理由」は30カ国以上で翻訳、世界的ベストセラーになった。この本は、イギリスで「僕が跳びはねる理由」として映画化、日本でも公開され大きな反響を得る。

2021年「Forbes JAPAN」誌が選ぶ「世界を変える30歳未満の30人 30 UNDER 30 JAPAN 2021」、2022年「Forbes 30 Under 30 Asia」に選出された。2023年春より発達支援の保育雑誌「PriPriパレット」でエッセイを連載中。2025年11月、単行本「自閉症の僕が、今も跳びはねる理由」（KADOKAWA）が最新刊。



お申込み

会場参加 令和8年12月10日(木)

<https://x.gd/1210chifuku>

または下記の二次元コードよりお申込みください。

締切：11月5日(木)

天候・災害等でやむをえず中止をする場合、本会ホームページにて、12月10日(当日) 午前10時までにお知らせいたします。



録画配信 令和9年2月1日(月)
～3月26日(金)

<https://x.gd/chifuku11rokuga>

または下記の二次元コードよりお申込みください。

締切：3月25日(木)

後日メールにて受講および資料ダウンロードに必要なURL・パスワードをお送りいたします。



※視聴に関わるインターネット通信費用は、視聴される方のご負担となります(基調講演：1時間、実践報告：1時間30分程度)

南区

14:30～ 第2部 実践報告

「支援する」「支援される」の垣根を越えた“横浜らしい地域づくり”に向けて、住民・団体・企業等の連携による支えあい活動を発表いただきます。



寿東部地区社会福祉協議会
みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ

七五三プロジェクト ～子どもの笑顔で地域をつなぐ～

家庭の事情によって節目のお祝いの機会を持てなかった家族のため、地域住民・ボランティア等が協力して着物イベントを開催。イベントが新たな出会いの場となり、その後の地域の支えあいにつながっていく。

見えにくい困難を抱える家庭が、地域の中でつながりながら生活することの意義について考える。



コーディネーター：
武蔵野大学 人間科学部社会福祉学科 教授
わたなべ ゆういち
渡辺 裕一 氏



子ども・あいさつ
ネットワーク委員会 (豊田地区)



第11回よこはま地域福祉フォーラムについて

私たちのまち横浜では、普段の暮らしの中で様々な見守り、支えあい活動が育まれています。こうした活動を広く共有することで取組の輪を広げ、困りごとを受け止め、支えあえる地域をめざして、こうという思いから始まった「よこはま地域福祉フォーラム」は、今年で11回目を迎えます。

さまざまな背景のある人がともに暮らす中、一人ひとりの存在や思いを認めあい、誰もが「ここにいていい」と感じられるつながりを育むことが、地域共生社会の実現に向けた大きな一歩となります。

本フォーラムを通して、「一人ひとりのありのままが受け止められる“居場所”としてのまちづくり」について、皆さんと一緒に考えていきます。



※プログラム中の各表題、登壇者等は変更になる場合があります。ご了承ください